

■ 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業の概要 (技術高度化事業)

国営土地改良事業により造成された用排水機場等の農業水利施設の多くが順次更新時期を迎えるため、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理を実現することが不可欠となっています。

このため、施設の診断、劣化予測、評価手法の技術向上及び対策工法の有効性や耐久性の検証など、機能の適切な保全に必要な技術を現地での実践を通して向上させ、ストックマネジメント技術の高度化を図る必要があり、今年度は、秋田県内（男鹿東部地区、平鹿平野地区）、山形県内（最上川下流右岸地区、米沢平野地区）で事業を行っております。

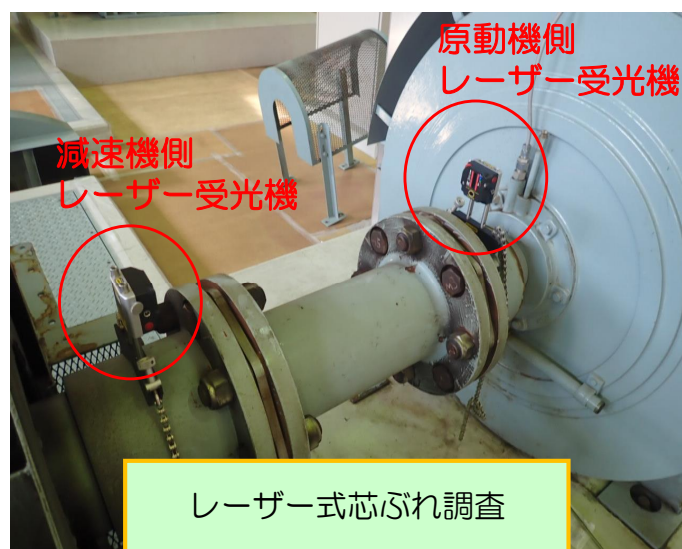
このうち国営男鹿東部総合農地防災事業で造成された南部排水機場で、電動機の性能低下原因の推定と簡易機能診断手法の検討を行うため、同期電動機と減速機の振動調査や芯ぶれ調査等を実施しており、調査状況をご紹介します。

南部排水機場ポンプ設備の諸元

名称	口径 (mm)	吐出力 (m ³ /s)	全揚程 (m)	極数 (P)	電動機回転速度 (rpm)	出力 (kW)
1号	2,200	12.0	9.1	4	1,500	1,450
2号	1,800	8.0	9.1	4	1,500	970
3号	2,200	12.0	9.1	4	1,500	1,450
4号	1,800	8.0	9.1	4	1,500	970



原動機のタコジェネレータの軸受部
マグネット式振動計による調査



レーザー式芯ぶれ調査



芯ぶれ測定後、自動で数値が
モニターに表示される

今後は、振動計から得られた波形や芯ぶれの数値などの調査データを解析し、性能低下原因の推定と今回の調査手法の検討を行い、異常の早期発見や異常が出てからの余寿命の予測、適切な更新・整備計画に繋げるように、本調査の取りまとめ作業を行います。

■ 能代二期地区 普及啓発イベント（植栽）に参加

当事務所が参加した能代二期地区 普及啓発イベントについて紹介します。

【活動の概要】

日 程 令和6年6月20日(木)
参加団体 秋田県能代地区土地改良区、湊城幼稚園
西奥羽土地改良調査管理事務所
活動内容 花壇への植栽

【活動に参加して】

本植栽活動は土地改良区の施設の景観形成の目的に開催されたものであり、当事務所からは職員4名が参加しました。

当日は天候にも恵まれ、参加者全員でニチニチソウやマリーゴールド、コキアなどを植栽しました。園児の皆さんは改良区職員の植え方についての説明をしっかりと聞き、一生懸命作業をしていたのが印象的でした。植栽活動終了後には園児の皆さんから「楽しかった。」などの感想が聞かれたとともに花壇は様々な花が植えられてとても色鮮やかになりました。

今回の活動を通じて、地域住民の皆さんが土地改良区の役割や農業水利施設に興味・関心を持つきっかけになればと思います。



植栽作業の様子



植栽後の花壇

■ 「第147回秋田県種苗交換会」の紹介

秋田県種苗交換会は、JA秋田中央会が主催し、1878年（明治11年）から続く歴史があり、現在では農業関連の技術講習や農産物の展示・販売等を行う総合的なイベントとなっています。

【交換会の概要】

期 間 令和6年11月1日(金)～11月5日(火)
会 場 鹿角市
来場者数 約62万人

【NNの普及・啓発】

会場に設営した秋田県、水土里ネット秋田等が連携して実施している「農業農村整備フェア」では、土地改良に関するアンケート調査を実施、記入者にはポップコーンをプレゼントし、農業農村整備の啓発・普及活動を行いました。

当事務所も参画し、今後の国営事業実施に向けた「能代二期地区」などのパネルを展示し、興味のある方には概要説明を行いました。

【当事務所から一言】

会場内は多くの来場者が訪れて賑わっており、展示されている農産物などに関心を寄せていました。令和7年度の種苗交換会は湯沢市で開催されます。

当事務所は、引き続き農業農村整備の啓発・普及活動に努めていきます。



会場内の様子



農業農村整備フェア
展示の様子

■ 事務所若手職員の紹介

当事務所では今年度新たに3名の係員が加わり、5名となりました。
そんな若手職員の皆さんに自己紹介をしてもらいました！！



企画課 さとう りょう
佐藤 凌

- 出身地 秋田県北秋田市
- 趣味 観光

○事務所勤務となって

昨年までは仙台市での勤務でデスクワークが多かったのですが、事務所に来てからは、現場に足を運ぶ機会が多く、他事業所や改良区等の方との関わりが増えました。地元ならではの色々なお話を伺えるのでとても勉強になっています。

休日はバイクでドライブをしながら、秋田、山形県の魅力を味わいたいです。



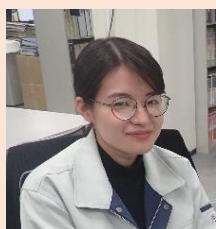
財産管理課 あさの ことみ
浅野 琴美

- 出身地 宮城県仙台市
- 特技 チューバ演奏

○好きなこと

外出をすることが好きです。主に車で移動し、ご飯を食べたり、水族館や美術館に行ったりして休日を楽しんでいます。たまにバスや電車などを利用することで、移動時間も楽しんでいます。

現在の業務では、様々な地域に行き、頭首工や水路などの施設を実際に確認し、現場を理解しながら業務を行うことにやりがいを感じています。



調査課 こんどう かな
近藤 佳奈

- 出身地 栃木県足利市
- 趣味 カフェ巡り

○最近の楽しみ

事務所に来てから業務で外に出ることが増え、地域の農業をより身近に感じるようになりました。その影響もあって、道の駅や産直に行く機会も増え、旬の野菜や果物、地域の隠れた名物を見つけたり、食べてみたりするのが今では楽しみになっています。これからもアンテナを張って各地域の名物を探していきたいと思います。



最上川支所 くわはら いっせい
桑原 一誠

- 出身地 秋田県秋田市
- 趣味 音楽鑑賞、ゲーム

○最近ハマっていること

10月からジムに通い始め、今では週3日通っています！

また、最近ではジムで知り合ったトレーニング仲間と一緒にトレーニングに励んでいます。

これからも継続して続けていきたいと思いです！



計画課 ふるいち さいと
古市 彩富

- 出身地 熊本県熊本市
- 趣味 観光

○趣味

入省10年目となり、岩手県（北上市）、宮城県（石巻市）、山形県（山形市）と来て、西奥羽で4場所目となりました。東北は入省してからのご縁ですが、インドア派ということもあり、過去3場所ではまったく観光をしていなかったため、後悔しています。秋田では田沢湖や武家屋敷など色々な観光地に行き、楽しんでいます。



編集後記

令和7年1月下旬、埼玉県八潮市で道路が陥没し、トラックが転落した事故が発生しました。原因は道路下に埋設された下水道管の破損によるものと考えられ、下水道の利用自費が120万人もの住民に呼びかけられるなど、日常生活に甚大な影響が生じました。国土交通省によると、全国の下水道管の総延長は約49万kmで、そのうち標準耐用年数50年を経過した延長は3万km(約7%)、10年後には約9万km(約19%)、20年後は約20万km(約40%)と今後は急速に老朽化が進むとされています(令和4年度末時点、出典:国土交通省HP)。

一方、農業水利施設の老朽化は、受益面積100ha以上のダム・頭首工・用排水機場・用排水路等の基幹的農業水利施設は約22,500箇所、そのうち標準耐用年数(10年～80年:施設により異なる)を経過した施設は約12,400箇所(約53%)、10年後には約16,200箇所(約69%)と下水道よりも老朽化が著しいといえます。農林水産省においては、定期的な機能診断を行いつつ、施設の長寿命化を図るストックマネジメントを行っておりますが、管理者の皆様で行っていただく日常の管理において、異常が生じていないか、通常とは違う状況(陥没・異音・異臭)が生じていないか等の維持管理が非常に重要であることを再認識される出来事でした。

話は変わりますが、当事務所では国営完了地区のフォローアップを行っており、施設の故障対応に係るご相談を受ける機会がございます。R6年度の事例として、事態が深刻化してから連絡を頂いたことで対応策が限られ、負担(時間・手間・費用)が大きくなった例があります。早い段階で当事務所にご連絡頂くことが負担軽減につながると思われまふ。「時は金なり」です。

私事ですが、正月明けから右目の視野が狭くなり、1月中旬に眼科を受診したところ、網膜剥離で早期に手術を行わないと失明するとのこと。入院・手術を行い、なんとか視力が回復しつつあるところです。医師から、「もっと早く来院すべき。いつ失明していてもおかしくない状況だった」とお叱りを頂きました。何事も、早め早めの対応が肝要と身に染みた年初めでした。

農業水利施設における スtockマネジメントの取組について

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/mizu/sutomane/attach/pdf/index-17.pdf>



事務所・支所のご案内

東北農政局
西奥羽土地改良調査管理事務所

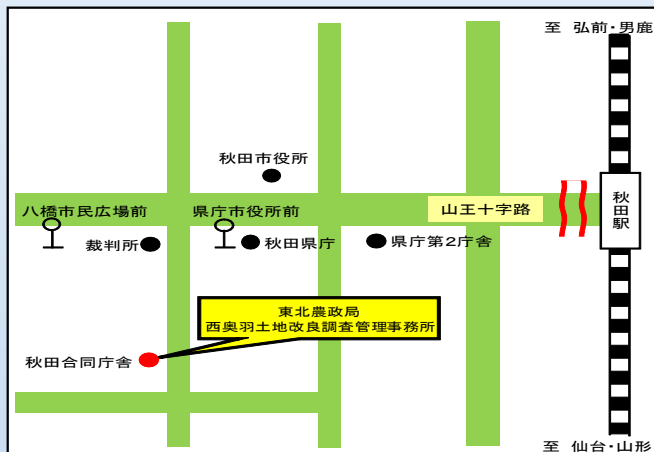
〒010-0951

秋田県秋田市山王7丁目1番3号

秋田合同庁舎内5F

TEL 018 (823) 7801~4

FAX 018 (823) 7805



最上川支所

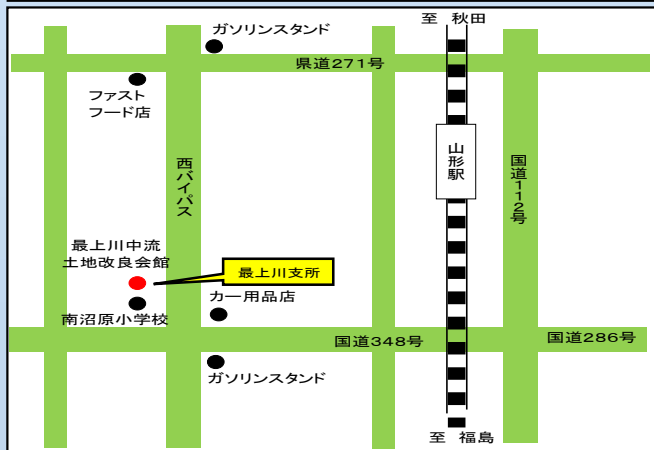
〒990-2476

山形県山形市飯沢62-2

最上川中流土地改良会館内2F

TEL 023 (643) 9961

FAX 023 (643) 9962



当事務所では、地域の皆様とのコミュニケーションをより一層深めていきます。

地域の情報や本誌へのご意見・ご感想などがあれば、是非お寄せください。

【HP】 <http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/nisiouu/index.html>

